

＜様式 A＞

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

(Ver.10.0 2024/10/16)
【本部提出用】(試合終了後チームで保管)

リトルシニア大会共通

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		
対戦相手		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS		
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数												
1		球	可・否	球												
2		球	可・否	球												
3		球	可・否	球												
4		球	可・否	球												
5		球	可・否	球												
6		球	可・否	球												
7		球	可・否	球												
8		球	可・否	球												
投球数カウント者 確認サイン(自チーム)																
投球数カウント者 確認サイン(相手チーム)																
監督 確認サイン																

【投球数制限】

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目45球以内、2日目も投球数を45球以内とし、3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席中に、投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④上記①②の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。③の場合3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥打者に対して投じた投球がボーグとなった場合は、投球数にカウントする。

また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。(例:2ボール.1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じた3球は投球数にカウントする。)
- ⑧雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ①試合終了後、本シート(原本)に両チーム投球数カウント者が投球数を記入し、サインをする。その後に、監督へ確認およびサインを受ける。
- ②監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③監督は、連戦等の場合は開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する
注)連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する